

しげの

里づくりの会

かわら版

第16号

しげの里づくりの会
広報委員会

住所:東御市滋野乙205-1
TEL:0268-71-7581



ホタル飛んだよ!



昨年から一年かけて滋野小学校の子どもたちがホタルの住みやすい環境作りに取り組んできました。その報告会が九月三十日に行われました(写真上)。この活動は信濃毎日新聞のこども欄でも大きく取りあげられ注目を集めています(写真中)。

活動を行ってきたのは六年一組の皆さんです。五年生の時はホタルの生態について勉強。今年は地域への情報発信、ホタル水路の整備、ホタルの餌となる「カワニナ」の餌と稚ループに分かれて活動してきました。こうした活動の結果、今年の夏には数匹のホタルが飛んだそうです。

滋野小学校ではこれまでもホタルの飛ぶ環境を作ろうと、学校創立一二〇周年記念行事としてホタル水



路をつくってきました。子どもたちはこれまでホタル水路の草取りをしたり、いたずらされないよう看板を立ててきました。

十月にはカワニナの餌として朴葉の葉がいいということで、全員で桜井の寺島嘉仁さん宅を訪問し、たくさんいただいたてきました(写真下)。

こうした活動は総合学習の時間を使って行われています。この授業で子どもたちは自ら考え、課題をあきらかにし、全員で取り組んでいます。ホタルを通じて勉強することの面白さを体験し、みんなで協力する大切さを学んでいます。

カワニナってかわいい?

報告会の中で「カワニナってかわくなかった?」という質問がありました。そうしたら女子から「かわいい」という思いもよらない返事が返ってきました。ホタルを通して、自然の大切さや、生き物への「いとおいさ」を感じています。

子どもたちは来年には卒業します。この活動を後輩たちが引き継いでくれることを願っています。

来年の夏、たくさんさんのホタルが飛びかうことを願っています。



負けないぞ！コロナ！！



しげの里づくりの会
会長 阿部 欣史

しげの里づくりの会も八年目に入りました。この間、皆様と共に住み良い地域づくりに取り組んでまいりました。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大で活動の自粛を求められ、今年度は、百二十一名の委員に郵送し、書面決議をお願い、ご承認を頂きました。

コロナ禍の現状で、本会と五つの専門部会が三密を避けながら会議を重ね、実行可能な事業と中止や延期の事業を仕分けました。

今後も、その時々状況を見極め進めてまいります。小学生の皆さんには、通学合宿と、諸々の校外学習が中止となり、楽しい思い出づくりが出来ないことを残念に思います。

なお、新型コロナウイルスの終息と疫病退散を願い、「アマビエ」の砂像設置を「雷電くるみの里」と当会で東御市地域おこし協力隊の堀田光彦さんに製作依頼し、「雷電くるみの里」入り口に据え付けました。デザインは、雷電生誕の地にちなみ、化粧まわしを絞め軍配を持っております。

皆さんに足を運んで見ていただきたいと思えます。コロナ禍が一日でも早く収束し正常な活動が出来ることを願うと共に、今後の住み良い地域づくりの為に、皆様のご協力をお願い申し上げます。



軍配と化粧まわしを締めた「アマビエ」



阿部会長と柳沢幸徳駅長（雷電くるみの里にて）

史跡めぐり

歴史・文化部会

部会長 寺島 嘉仁

令和二年、当部会は、新型コロナウイルスの影響で、活動が出来ず秋期まで来てしまいました。

三月の「蚕都・諏訪・岡谷」視察研修が中止となり、秋に上田市内の研修を計画致しましたが、先方での受け入れが出来ず中止。

十一月二十二日には、青少年育成部会との合同で、滋野地区「中屋敷・片羽」巡りを実施しました（写真参照）。

三月までには「歴史講演会」（宮入刀匠による山浦清麻呂刀匠についての講演会）も計画をしております。

コロナの収束を願っています。何か実施したいと思っております。

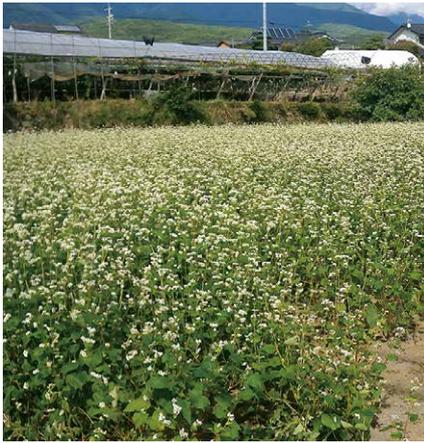
今後も滋野地区内の歴史・文化について掘り起こし、講演会視察見学を計画しています。是非ご参加下さい。



そばの収穫

産業・環境部会

部会長 長岡 政直



産業・環境部会も他部会と同様コロナにより事業が出来ませんが、荒地対策事業として、今年もそばの栽培と花壇づくりを実施することが出来ました。
ただ、毎年おこなっております蕎麦会は十二月に実施しました。なお、収穫したそば粉を販売いたしますので宜しくお願いいたします。
その他の事業で、十一回目となる「くるみお菓子料理コンテスト」は、今年度は中止。他の研修・視察等についても検討中です。
地域の皆様にお手伝いをいただき良い環境づくり、荒地地の活用等を今後も考え産業・環境部会を盛り上げていきたいと思っております。

ズクサチ体操で健康に!

支えあい部会

部会長 関 茂



コロナ禍の今、先の見えない不安が続き、外出も控えるように言われています。
そんなことで体を動かさない状態が続き、体力の衰えが心配です。
二週間寝込んだり、活動をしないことで、七時間分の筋肉が失われると言われています。筋力トレーニングで筋肉を維持し、凝り固まっている肩や腰まわりをストレッチでほぐして、いつでも動ける体を保ちましょう。
人生百年時代と言われても、病弱では生きている価値も薄れます。そこで、自宅でも気軽に簡単に出来る運動が考えられています。
東御市では、身体教育医学研究所によって、ちよっとズクを出して体操をすることで健康につながる、ズクも積もれば幸となる「ズクサチ体操」があります。
「おうちのえんがわ」では体操を実際にやっています。
ご一緒に参加しませんか。

残念ふれあい子供塾

青少年育成部会

部会長 後藤 富美男



昨年のふれあい子供塾

当部会の活動も、コロナにより次々に中止となり、とても残念です。
特に八月に実施を予定していた「ふれあい子供塾」は、六月になりコロナの状況も落ち着いてきたので打ち合わせ会を何回も開き、コロナ熱中症対策に万全を期し実施することにしました。募集したところ八十三名の大勢の子供達の申し込みがありました。三密をさける為、ほとんどの内容は外でやることにし準備を進めていきましたが、東御市周辺で感染者が増えて来たのでやむを得ず実施六日前に中止を決定しました。子供達や保護者の皆さんに悲しい思いをさせてしまい大変申し訳ありませんでした。

コロナで行事断念!

生涯学習部会

部会長 土屋 芳男



昨年の分館交流球技大会

四月の分館長就任以来、皆様ご承知の通り、日本中に新型コロナウイルスが感染拡大し、県下においても感染者が継続的に出ております。このため、本年度の分館交流球技大会、三方ヶ峰登山、写経、ふれあいの集いの分館行事を中止いたしました。
十月に入り、新型コロナウイルスも少しずつ減少傾向にあり、また、国もGOTOキャンペーンを実施するという県をまたぐ交流緩和策をとっています。
地域の皆様におかれましては、普段から楽しみにしていた交流活動や日頃から研鑽を積まれてきた成果の発表が出来ないという気持ちがあるうかと思ひ、本当に残念です。



コラム 「しげの里づくりの会」とは?

しげの里づくりの会が活動を始めてから八年になります。

これまで様々な活動をして来ました。しかし「里づくりの会って何をしているの?」「区があるからなくてもいいんじゃないの?」などという声もお聞きします。

そこで、改めて活動の内容を紹介します。里づくりの会は、協働のまちづくりを掲げて、それまでの活性化委員会を引き継ぐ形でスタートしました。五つの専門部会を持ち、活動は多岐にわたります。役員は区長や公民館長をはじめ約百名。各区から選出されています。

滋野には十の区がありますが、活動は今までそれぞれの区に限られていました。里づくりの会が出来て一番変わったのは、滋野全体を意識する活動ができたことではないでしょうか。

たとえば、子供たちがコミティーセンターに泊まり込んで行う「通学合宿」、地域の皆さんの居場所である「おうちのえんがわ」、地元の英雄、江戸時代の力士雷電為右衛門を顕彰する「巨大紙相撲大会」などです。これらの活動は、里づくりの会がなければできなかった大きな成果です。これまで活動を支えてきたのは

べてボランティアの皆さんです。活動を通じてこれまででは知り合うこともなかった皆さんがそれぞれの区の枠を超えて、交流を深め信頼を築き、地域を支える人材を育ててきました。しげの里づくりの会の活動を契機に、今では市内五地区すべてに地域づくりの会が組織され、活発なボランティア活動が行われています。

その中で地域づくりは行政におまかせするのではなく、私たち自身が取り組むべき課題であるという意識が高まっています。

- 「しげの里づくりの会」令和二年度 新役員
- 副会長 関 洋一
 - 幹事 区長会長(大石区) 中村 和夫
 - 幹事 副区長会長(王子平区) 土屋 芳男
 - 分館長会長(別府区)

編集後記

しげの里づくりの会の活動はまだまだ知られていません。そこで、今回新たに広報委員会がスタートしました。会の活動のPRと、区民の皆さんの声を反映することが目的です。あわせて広報のスタイルも一新しました。

広報委員長 若林 幹雄